

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

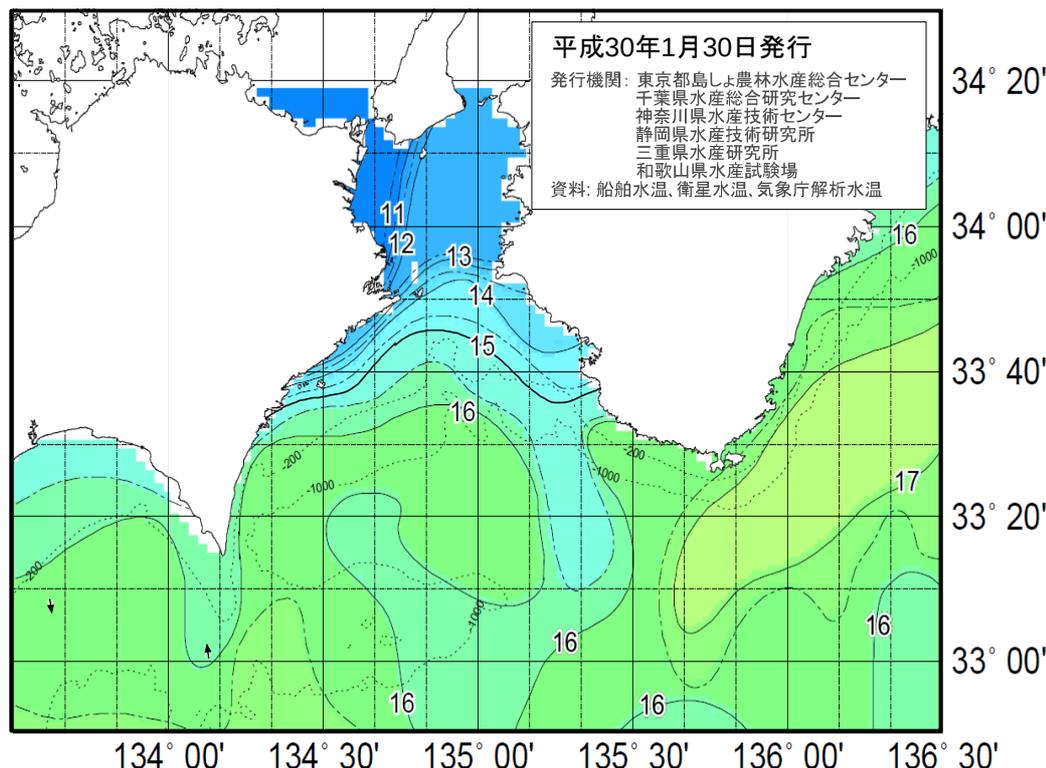
1. 周辺海域の水温

黒潮は、室戸岬沖では引き続き「離岸」で推移した。潮岬沖では「離岸」～「著しく離岸」で若干変動があり、30日には「著しく離岸」となっている。

徳島県沿岸の水温は、播磨灘で8～10℃台、紀伊水道で8℃～13℃台、海部沿岸で13℃～15℃台と低くなっている。

黒潮の表面温度も、19℃～20℃台と低い。

室戸岬南東沖の黒潮から室戸岬に向けて暖水波及があり、時計回りの流れがあるが、海部沿岸には到達していない模様。



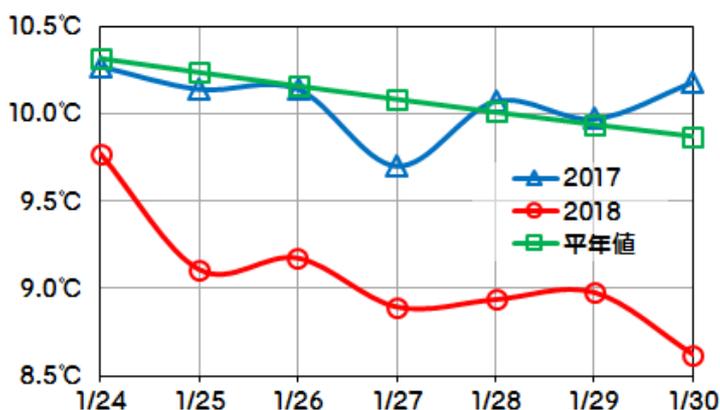
海況図は、平日夕方に水産研究課HPの「地先水温情報」のページに、前日分と当日分を掲載しています。

2. 地先水温(1月24日～1月30日)

鳴門地区の地先水温は期間を通じて「やや低め」で、22日から25日にかけて大きく下がった後、9℃前後でしばらく横ばいで推移していたが、30日にはさらに下がって8.6℃となっている。

日和佐地区の地先水温は、13.2℃から12.6℃まで緩やかに下がり、平年比も期間半ばまで「低め」であったが29日以降は「かなり低め」となっている。

鳴門地区



日和佐地区



※水温の高低 平年並：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 鳴門地区：1981年～2015年の平滑平均値、日和佐地区：1982年～2015年の平滑平均値

3. 週間予報(1月31日～2月6日)

黒潮は、室戸岬沖では「離岸」、潮岬沖では「著しく離岸」～「離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区は「やや低め」～「低め」の8℃～7℃台、日和佐地区は「低め」～「かなり低め」の12℃前後で推移する見込み。

漁況 2018年1月22日～1月28日（旧暦12月5日～12月12日）

紀伊水道、海部沿岸とも漁獲量が前週の半分ほどまで減った。

1. 紀伊水道(標本漁協数:3)

標本漁協では、船びき網は、1月は例年休漁となっている。

延縄では、タチウオがやや増えて特大主体に0.5ト水揚げされた。

小型定置網では、キチヌ(きびれ)が大きく増えて0.7ト、マアジが減って0.6ト、ボラが増えて大主体に0.5ト水揚げされた。

底びき網では、シリヤケイカが大きく減って2.5ト、コウイカが増えて大主体に1.2ト水揚げされた。

2. 海部沿岸(標本漁協数:4)

釣りでは、タチウオが大きく増えて1.1ト水揚げされた。

建網では、カサゴが増えて0.3ト水揚げされた。ヒラメ狙いの建網の操業も本格化し、ヒラメが0.2ト水揚げされた。

小型定置網では、マアジが小小主体に3.1ト、アオリイカがやや増えて0.3ト水揚げされた。

大型定置網では、マアジが大きく減って小小主体に1.1ト水揚げされたほかは目立った水揚げはなかった。

漁獲量集計表(漁獲が0.2ト以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	延縄	16	タチウオ	454	28	特大主体	↗
		14	シマフグ	216	15		↘↘
	小型定置網	21	キチヌ	738	35		↗↗
		19	マアジ	584	31		↘
		13	ボラ	519	40	大主体	↗
		18	マダイ	298	17		↗
	底びき網	42	シリヤケイカ	2,452	58		↘↘
		42	コウイカ	1,222	29	大主体	↗
		33	えそ類	389	12		↘↘
28		サワラ	219	8	さごし主体	↘↘	
海部沿岸	釣り	21	タチウオ	1,061	51		↗↗
	建網	36	カサゴ	256	7		↗
		44	ヒラメ	201	5		↗↗
	小型定置網	29	マアジ	3,143	108	小小主体	↘
		48	アオリイカ	336	7		↗
		20	メジナ	208	10		↘↘
	大型定置網	10	マアジ	1,130	113	小小主体	↘↘

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘